

日本反帝同盟史研究

戦前期反戦・反帝運動の軌跡

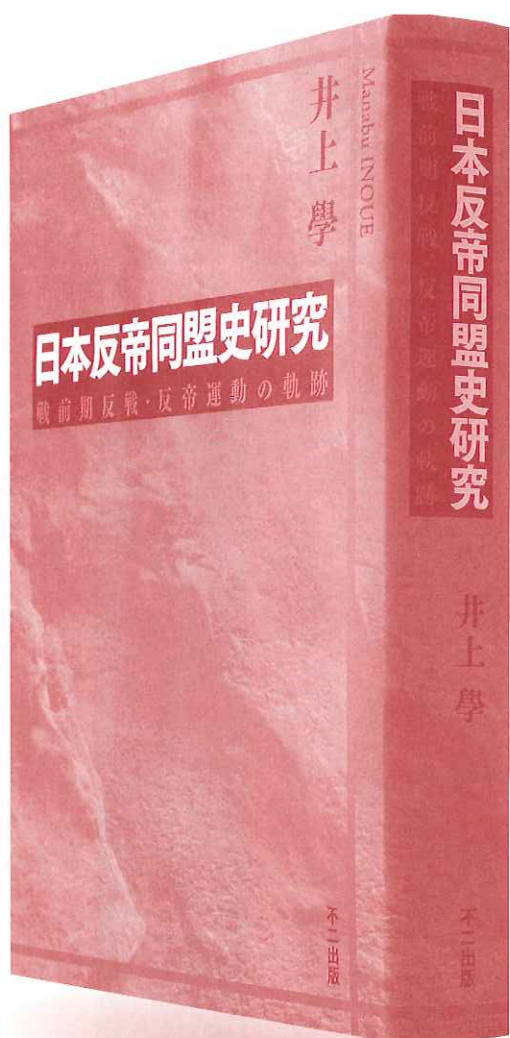
井上 學

著

Manabu INOUE

反戦・反帝国主義運動に
正面から取り組んだ「日本反帝同盟」研究の集大成！

「朝鮮・中国その他の被圧迫全民族の政治的及び社会的解放闘争を支持する」ことを掲げ創立された「日本反帝同盟」の活動を、『反帝新聞』『反帝ニュース』『無産者新聞』『赤旗』『社会運動通信』『社会運動の状況』等の資料や、当事者からの聞き書きなどを駆使して、一九二〇年代後半から、活動を停止する一九三四年三月ごろまでの足跡を明らかにする。



A5判・上製・五二八頁・二〇〇八年四月刊

ISBN978-4-8350-5766-8 C0020 ¥8500E

定価(本体価格八、五〇〇円十税)

不二出版

まえがき

第一章 「対支非干渉同盟」の創立とその活動

- 第一節 「対支非干渉全国同盟」の創立
- 第二節 「支那視察団」派遣運動
- 第三節 「満蒙侵略政策」反対運動と「朝鮮共産党事件暗黒公判」抗議闘争
- 第四節 国際反帝同盟の創立と「対支非干渉同盟」

第二章 戦争反対同盟と反帝同盟日本支部準備会設立

- 第一節 戦争反対同盟の設立
- 第二節 戦争反対同盟の活動
- 第三節 戦争反対同盟の「組織並に運動方針」
- 第四節 反帝同盟日本支部準備会の設立

第三章 日本反帝同盟の創立

- 第一節 反帝同盟日本支部（日本反帝同盟）の創立
- 第二節 創立直後の日本反帝同盟
- 第三節 日本反帝同盟創立期の活動

第四章 日本反帝同盟第一回全国大会——「満州事変」と日本反帝同盟

- 第一節 「反帝新聞」創刊後の日本反帝同盟
- 第二節 日本反帝同盟第一回全国大会の開催

第五章 汎太平洋反帝国主義民族代表者会議の提唱

- 第一節 汎太平洋反帝民代会議の提唱と開催への取り組み
- 第二節 「汎太平洋反帝民代会議」時期の他の活動

第六章 日本反帝同盟と在日朝鮮人

- 第一節 日本反帝同盟に加盟した在日朝鮮人
- 第二節 日本反帝同盟と在日朝鮮人

第七章 日本反帝同盟第二回全国大会および上海反戦大会

- 第一節 日本反帝同盟第二回全国大会
- 第二節 上海反戦大会と日本反帝同盟

第八章 趙泳祐反帝葬と日本反帝同盟拡大会議

- 第一節 趙泳祐反帝葬
- 第二節 日本反帝同盟拡大会議

第九章 (補論) 朝鮮における反帝同盟と在朝日本人の活動

- 第一節 国際反帝同盟諸大会と朝鮮代表
- 第二節 朝鮮における反帝同盟の組織化
- 第三節 城大反帝同盟事件

〔注〕

あとがき

索引(人名索引・事項索引)

推薦文

平和とアジアを考える人びとへの問題提起

伊藤 晃(千葉工業大学教授)

戦後日本に平和運動はさかんでも、そこには日本の戦争行為と植民地支配がアジア民衆にもたらした苦難への認識が弱い、とよく言われる。しかしなぜそうであるのか。その歴史的根源の探求に取り組む人は少ない。本書はまさにこの大問題、反戦運動と反帝国主義運動の統一の把握に正面から取り組んだ大作である。両運動の統一をめざした戦前の日本反帝同盟がその研究対象である。

反帝同盟は共産党周辺の運動だったから、従来研究者は国際共産主義運動の誤謬による制約という観点に立つことも多かった。これは正しいのだが、一面後日からの批判として当時の運動従事者には高踏的にも聞こえよう。彼らは現に右の制約のなかで苦しみ、大衆運動の現場でそれを突破しようとして果たさなかった経験の持主だからだ。

この活動家たちの経験の咀嚼による運動の内在的批判を著者はめざしたのであり、著者はこの仕事に最適の人なのである。著者は三〇年以上反戦反帝運動史資料の探索・編集に献身しながら、運動当事者に親近し、彼らの経験と苦悩を現代に伝える努力を続けてきた。戦争と植民地のない世界を本気で夢見た日本・朝鮮にわたる多くの無名の人が、著者の筆によってわれわれの前にみえた。だから本書は単なるアカデミックな業績に止まらない。この大著全体がこんにちの平和と植民地主義批判の運動への問題提起である。

著者紹介

井上 學(いのうえ まなぶ)

一九四三年 岡山県に生まれる
 一九七〇年 法政大学大学院修士課程社会学専攻修了
 現 在 「海峡」同人
 編 著 書 「編集復刻版 反帝新聞」
 (解題、不二出版、一九八四年)
 「日本人民反戦同盟資料」
 (解題、不二出版、一九九四年)
 「社会運動の昭和史——語られざる深層」
 (共編、白順社、二〇〇六年)
 (共訳、同時代社、二〇〇六年)

訳 書 金晃一「李載裕とその時代」

(共訳、同時代社、二〇〇六年)

鹿地亘資料調査刊行会 編「編集復刻版」
日本人反戦同盟資料 全12巻・別巻1

- ▼別巻Ⅱ 解題・解説(井上 學)・総目次・関連年表
- ▼A4判・上製・総四、九〇〇頁
- ▼本体価格 四五五、〇〇〇円十税
- 日中戦争期に敢えて中国側に投じ、日本人兵士の反戦運動を組織し、指導した鹿地亘の残した資料の集大成。反戦運動に参加した兵士の手紙、鹿地亘の周辺にいた中国人文学者の手紙など、これまで未整理、未発表の資料を多数収録する。日本の戦争に反対し、生命をかけて反戦のために闘った日本人の貴重な反戦闘争の記録。
- 推薦Ⅱ 犬丸義一・大江志乃夫・藤原彰・小島晋治・丸山昇・王曉秋

朴 慶植 編「編集復刻版」
在日朝鮮人関係資料集成(戦後編) 全10巻

- ▼小林知子・宮本正明・長澤秀・金栄・高柳俊男 解題
- ▼A4判・上製・函入・総約三、五〇〇頁
- ▼本体価格 二八〇、〇〇〇円十税
- 全10巻の構成Ⅱ①②在日朝鮮人連盟関係、③在日本大韓民国居留民団関係、④在日朝鮮統一民主戦線関係、⑤在日朝鮮人職業名鑑・文化年鑑、⑥教科書・教育関係雑誌、⑦都立朝鮮人学校関係、⑧⑨⑩朝鮮人刊行新聞・雑誌。解放直後のこれまで見ることができなかった貴重資料多数を含む。
- 推薦Ⅱ 姜在彦・姜徳相・宮田節子・山田昭次

反帝同盟会 編／井上 學 解題「編集復刻版」
反帝新聞

- ▼B5判・上製・五一八頁
- ▼本体価格 二八、〇〇〇円十税
- アジア唯一の帝国主義国内で、反帝国主義・民族独立の旗を掲げ、侵略戦争に反対し、国際的な反戦運動に取り組んだ日本反帝同盟の機関誌紙・パンフレット類を収録。

日本社会運動通信社 刊(昭和三年～昭和一五年刊)「復刻版」
社会運動通信 全40巻・別冊1

- ▼別冊Ⅱ 解説(渡辺 徹)・記事・地方別索引 全2巻
- ▼A4判・A3判・上製・函入・総二四、〇〇〇頁
- ▼本体価格 一、〇〇〇、〇〇〇円十税
- 一九三〇年代社会運動の高揚期を伝える新聞形式の情報紙で、中央における政党、労働組合、諸団体等の記事は勿論、特に地方の情報を「争議日誌」欄に速報し、全国各地の労働運動の詳細を日々伝えている。
- 推薦Ⅱ 石堂清倫・大河内一男・小山弘健・塩田庄兵衛・渋谷定輔・鈴木裕子・松尾草一・渡辺 徹

内務省警保局 編「復刻版」
社会運動の状況(大正一五年版・昭和二年版) 全2巻

- ▼解題(荻野富士夫) 付き
- ▼A4判・上製・総八一二頁
- ▼本体価格 五〇、〇〇〇円十税
- 内務省警保局刊行の社会運動関係の定期刊行物のうち、「社会運動の状況」として一冊にまとめられ活版印刷にされるのは、昭和四年以降であり、それ以前は、社会主義運動・労働運動・農民運動・水平運動・在留朝鮮人・無産政党運動などに分かれて謄写版印刷で刊行されていた。弊社では、大正一五年、昭和二年の二年分を復刻。

初期コミンテルンと東アジア研究会 編
初期コミンテルンと東アジア

- ▼A5判・上製・三一二頁
- ▼本体価格 四、二八六円十税
- 東アジアの社会主義運動とコミンテルンの関係は如何にして始まったのか。モスクワ・アルヒーフを駆使した七編の論文により、日本、朝鮮、中国、モンゴルとコミンテルンとの接点が初めて明かされる。

* 表示価格はすべて税別

不二出版

▶ 〒113-0023 ▶ 東京都文京区向丘 1-2-12
 ▶ TEL 03-3812-4433 ▶ FAX 03-3812-4464
 ▶ 振替 00160-2-94084